



水先人

PILOT

海や港の情報に精通したプロフェッショナル



一般財団法人 海技振興センター

一般財団法人 海技振興センターは、水先人の養成及び確保のための総合的な支援を行うとともに、船舶の運航及びきょう導に関する改善進歩等の事業を行っている一般財団法人です。

※水先人養成の具体的な支援については、5ページをご覧ください。



PILOT

船長のアドバイザーとして船と港の安全を守るエキスパートです。

水先人【みずさきにん】

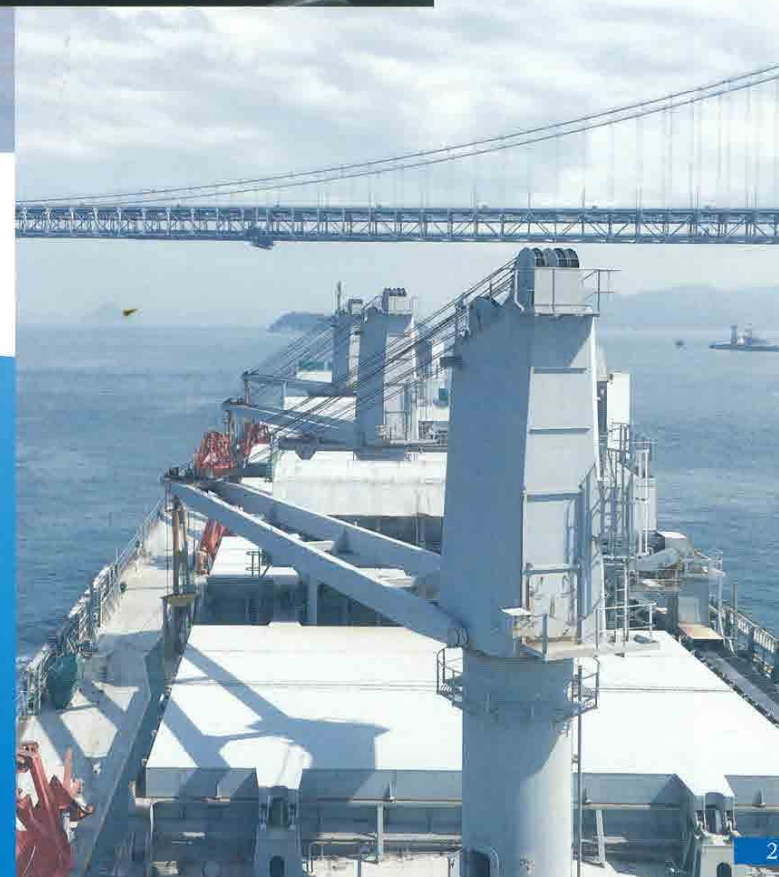
大型貨物船から漁船まで
多くの船が行き交う日本各地の港湾。
その港湾に入出港する船舶に乗り込み、
船長に助言を行うことで
安全な航行をサポートする専門家が「水先人」です。

【役割】 船長のアドバイザー

- 各港湾を出入りする船舶の船長及び乗組員が、それぞれの港湾の状況を細かく把握することは容易ではありません。そこで必要とされるのが、その水域の環境や事情を熟知した「水先人」です。
- 水先人は担当する船舶に乗り込み、船長の指揮のもと、安全に航行するためのアドバイスを行います。船の事故を防ぐことで海洋環境を守り、かつ輸出入が滞りなく行われるために欠かせない仕事です。
- 一般的に使われる「水先案内人」という言葉は、この水先人のことで英語では「pilot」と言います。

【働き方】 個人事業主(自営業者)

- 水先人は全国各地の水先人会に所属しますが、水先人会から報酬を得るわけではありません。個人事業主として、担当した水先業務の対価(水先料)を受け取ります。
- 水先人はローテーションを組み、業務を担当します。週末・祝祭日に休めるとは限りませんが、一定の休日を確保でき、最長10日以上長期休暇をとることもできます。
- 心身が健康であれば72歳程度まで働けます。



WORKS

【水先人の業務】

水先人は無冠の外交官とも称される日本に無くてはならない職業です。水先人が船を導くことを「嚮導(きょうどう)する」といいます。水先人は港外で誰よりも早く船を出迎え岸壁へ嚮導します。

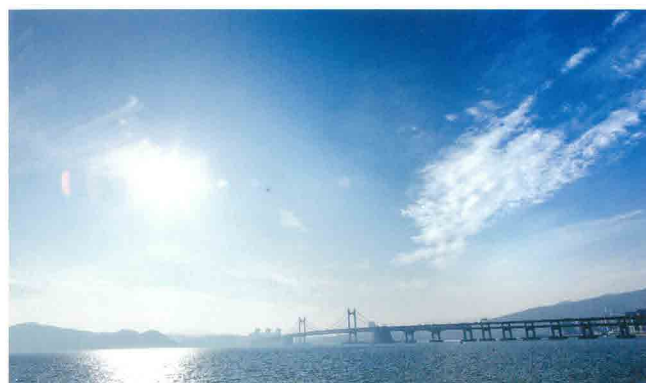
私たちが手にする食料や衣服の大半は輸入に頼っていますので船から降ろすとたちまち店頭並ぶ商品もあります。

そして船が荷役を終えると水先人は再び港外まで嚮導し国内や外国の次の港へ送り出します。



船舶動静や気象状況の確認

所属する水先人会事務所に担当する船舶の入出港時間を確認し、その日の気象・海象の状況に応じた操船方法を考えるなど、水先業務の準備を行います。



船長との情報交換

安全な航行には、BRM(ブリッジ・リソース・マネジメント)が欠かせません。船橋内の人材や装置類、情報などを有効に使って、いかに効率的にマネジメントするかが、水先人の腕の見せどころです。そのために、船長や航海士と密にコミュニケーションをとりながら、情報交換と指示を行います。



航行業務

乗船後は、天候や潮流、周囲を行き交う船の動向に注意を払い、安全に航行するための指示を出します。その際、法律に従うのはもちろんですが、現場の状況に応じた判断が必要となるケースも少なくありません。また、夜間や霧が多い日、狭い海域においては視界が悪くなるので難易度が上がります。



入出港・離着岸

船舶の入港・出港時刻は決まっているので、定められた時間までに安全に離着岸させます。入港の場合は安全に着岸させるまで、出港の場合は港外や外洋に出るまでが水先人の仕事です。



VOICE 【先輩水先人の声】

現在、水先人として活躍中のおふたりにお話を伺いました。

大きな船舶に乗り込み操船。 1回ごとに達成感がある仕事です。

若いうちに、船で主体的に働けるのが魅力

大学3年次に水先人会の見学会に参加し、先輩方が大きな船を綺麗に着岸させているのを見て「自分もそうになりたい」と思ったことが、水先人を目指したきっかけです。20代のうちに船に乗って船長さんにアドバイスできるという、主体的な業務であることに魅力を感じました。「会社員ではない働き方をしてみたい」という想いもありました。水先人として働き始めてからは、午前中に仕事を終えた後は自由に過ごしたり、休暇中に九州をツーリングしたりと時間を有効に使えています。

ひと仕事終えて船を見送る時の大きな達成感

初めて1人で水先業務を担当した日は、緊張が半分と嬉しさが半分でした。無事に仕事を終え船長に初仕事であることを伝えると、ちょっと驚いて「Congratulations first solo!」と言ってくれたことが、とても嬉しかったです。毎回、仕事を終えて船が遠ざかって行くのを見るたび、「あんなに大きな船を動かしてんだ…無事に終わってよかった」と達成感があります。困難な仕事だったほど、終わった後の安堵感も大きいです。この仕事は1回1回が勝負。その日でスッキリ終わって翌日に持ち越さない点も自分に向いていると思います。



東京湾水先区水先人会 水先人 2級
上沼 尚大さん

東京海洋大学海事システム工学科

大学院に通いながら実習 ※旧制度の場合

3級水先人として業務に当たる

2級水先人として業務に当たる

船に関わる仕事の選択肢として 水先人があることを知ってほしい。

航海士の経験を生かしたキャリアの選択

海運会社で働くうちに、「このまま仕事を続けても自分の中で明るい未来が描けない」と行き詰まったことが転職の契機となりました。とはいえ、船と関わりのない仕事を選んで13年分の経験を無駄にするのは辛すぎます。そうではなく「今までの経験が下積みになったのだ」と思える仕事に就きたかった。それで34歳のときに水先人に挑戦しました。私がそうだったように、一度船乗りとして働いた後にその経験を生かして水先人というキャリアを選ぶことを、ぜひ知っておいて欲しいです。

コミュニケーションが大切なサービス業

船の責任者はあくまで船長であり、その責任を水先人が肩代わりすることはできません。だからこそ、船長に負けないぐらい船の安全について考え、お役に立ちたい。短い乗船時間で信頼関係を築くために、船の航行に関して自分がどんな考え方・判断をするのかを、なるべく早く船長に伝えるようにしています。そうすることで今後の大事なやりとりもスムーズになるように感じています。コミュニケーションの質が仕事の質を左右するという意味で、水先人はサービス業であると私は考えています。ですから、英語に加えてコミュニケーションの勉強も続けています。



大阪湾水先区水先人会 水先人 2級
榎本 宣子さん

波方海員学校専修科 ※当時の学校名

海運会社に勤務(甲板員3年、航海士10年)

海技大学校で水先教育を受ける

3級水先人として業務に当たる

2級水先人として業務に当たる

STEP 【水先人免許取得まで】

1 商船実習（新卒者等）

海技振興センターの船員として海運会社に出向し、2年間（乗船1年、休暇1年）航海士の経験を積みます。乗船期間中は、乗船手当が支給されます。



2 座学（必要な知識の習得）

水先人に必要な知識である、航海・運用・法規・英語を習得します。



3 操船シミュレータ

海の様子をリアルに再現した操船シミュレータを使って、本番さながらの訓練を実施します。



4 実務修習

志望した水先区で実際に船に乗り込み、水先人の基本的な仕事を実地で学びます。

水先人免許取得に必要な国家試験

国家試験には身体検査と学術試験があり、学術試験は下記の通り実施されます。

- 筆記試験：水先区共通教育（11ヶ月）終盤に実施
 - 口述試験：水先区個別教育（10ヶ月）終盤に実施
- 上記の検査・試験にすべて合格し、水先養成施設の全課程を修了することで、水先人の免許が取得できます。

海技振興センターによる経済的支援

選考試験に合格すると、海技大学校 水先教育センターで水先養成課程を修了するまで、下記の支援を受けられます。

- 月額25万円の養成手当を支給
 - ・2級、1級で中小水先区を希望する水先修業生は、月額40万円
 - ・3級水先修業生の商船実習訓練期間の乗船中は、月額40万円
- 教科書・救命胴衣の無償支給
- 実習・訓練に要する宿泊費や交通費（近隣は除く）の支給

STEP UP 【3級からのステップアップ】

3級からスタートし、一定の条件を満たすことでステップアップできます。約10年で1級になることがおおよその目安です。上位資格であるほど乗船できる船舶の幅が広がり、収入も向上します。

